

● 外来植物ナガエツルノゲイトウ

あの畦に黒いシートがかぶせてありますね。あれは何だと思いますか？

外来植物ナガエツルノゲイトウ対策です。光を遮断して枯らす方法です。ナガエツルノゲイトウが水田に入り込んでしまうと、どんどん広がり、稲を機械で収穫できなくなります。

ナガエツルノゲイトウは 40 年ほど前に印旛沼に入り込み、10 年ほどから手賀沼に広がり始めました。水田には沼からの灌漑用水で入り込んできます。

この植物は種子をつくりませんが、繁殖力が旺盛です。刈った後の茎の節から根を出して、増



畔に黒いシートがかぶせてある



花序の柄が長いのでナガエ



節々から根を出す



取水口にネットをかぶせる

えていくのです。切れ端からどんどん増えていくので、草刈りをすればするほど増えてしまうというわけです。

あの用水口を見てください。ネットで被っています。ナガエツルノゲイトウの切れ端が、水田に入らないようにしているのです。

この黒いシートの上に、水田から取り除いたナガエツルノゲイトウが積み上げられています。ちょっと一本取ってきましょう。節のところを見てください。細い根がいっぱい伸びていますね。



参考:手賀沼のナガエツルノゲイトウとオオバナミズキンバイ

ナガエツルノゲイトウは、いま利根川の下流域に広範囲に広がりつつあります。手賀沼に広がったナガエツルノゲイトウは表面を覆いつくし、その下は無酸素状態になり、生物のいない場所になります。現在千葉県は、その除去に多くのお金を使って、取り除く作業を繰り返しています。（浅間茂）